

1. ICT 委員会 会議報告

愛知大学情報メディアセンターの事業および運営は、ICT企画会議のもと、三校舎合同のICT委員会を設置し、豊橋および名古屋(車道メディアゾーン含む)情報メディアセンターの事業を推進する。
(2023年10月から2024年9月まで)

2023年度

◇第3回11月30日

議題：

1. 2024年度情報メディアセンター開館カレンダーについて
2. 2024年度予算申請について
3. その他

協議・報告：

1. 車道校舎コア・ディストリスイッチ更新に伴う2/25のインターネットおよび車道校舎ネットワーク停止について
2. 2024年度版Moodleサーバーの4.1xへのバージョンアップについて
3. その他

2024年度

◇第1回6月30日

議題：

1. 所長改選について
2. COM編集委員選出について
3. その他

協議・報告

1. 2023年度事業報告書について
2. 2024年度事業計画書について
3. 2024年度新規予算案件について
4. メディアゾーンの授業利用について
5. 2025年度メディアセンター開館時間について
6. 名誉教授のメールアカウントの運用について
7. その他

◇第2回7月22日～26日(メール会議)

議題：

1. ユーザーID利用内規の改正について

◇第3回7月25日～30日(メール会議)

議題：

1. 全学認証システム更新について

◇第4回8月22日～30日(メール会議)

議題：

1. 教育研究PC更新2024について
2. ファイアウォール更新およびSOCサービスについて

◇第5回9月6日

議題：

1. 情報セキュリティ部会委員選出について
2. 2025年度メディアセンター開室時間について
3. 私立大学情報教育協会(私情協)の脱退について

協議・報告

1. 学生の推奨ノートパソコンの環境について
2. 全学認証システム更新について
3. 教育研究PC更新について
4. ファイアウォール・SOC更新について
5. その他

2. 情報メディアセンター主催行事 (2023年10月～2024年9月)

◆名古屋校舎

開 講 日	講 習 会 名	教室	参加人数
2023年10月24日(火)	Word講習会・卒論編	L712	3人
2023年11月27日(月)	Word講習会・卒論編	L713	2人
2023年12月13日(水)	Excel講習会・関数編	L713	2人
2024年4月5日(金)	新入生向けパソコン利用ガイダンス	W402	14人
2024年5月13日(月)	PowerPoint講習会	L711	4人
2024年5月23日(木)	Word講習会・レポート編	L710	22人
2024年5月29日(水)	Word講習会・レポート編	L713	4人
2024年6月11日(火)	PowerPoint講習会	L711	3人
2024年6月26日(水)	Word講習会・レポート編	L710	2人
2024年7月10日(水)	Word講習会・卒論編	L712	2人
2024年9月27日(金)	Word講習会・卒論編	L710	18人

◆豊橋校舎

開 講 日	講 習 会 名	教室	参加人数
2023年11月8日(水)	Excel2021講習会 関数応用編	423教室	2人
2023年11月14日(火)	Excel2021講習会 ピポットテーブル編	423教室	2人
2024年5月10日(金)	Word2021講習会 初級編	421教室	2人
2024年5月14日(火)	Excel2021講習会 初級編	421教室	1人

◆車道校舎：主催行事なし

3. 2023年度Moodle (LMS) 運營業務報告

1. Moodle講習会

Moodleの利用促進および遠隔授業サポートのため、Moodle講習会を以下の通り実施した。

第38回Moodle講習会

校舎	開催日時	場所
豊橋	2024年3月14日2・3限	4号館421教室
名古屋		厚生棟W402教室

第38回 教員向け Moodle講習会のお知らせ!

ご質問・ご意見を
お寄せください

Moodle講習会は少人数でゆっくり進めていきますので、まだ使ったことがない方、使い始めの方にピッタリです。既に使いこなされている方は、質問だけのご参加でも構いません。申込などは不要ですので、お気軽にお立ち寄りください。

- 日時 3/14 (木) 2・3限**
2限 初心者向け講習会 名古屋校舎 10:45～ 豊橋校舎 11:00～
3限 利用者向け相談会 名古屋校舎 13:00～ 豊橋校舎 13:20～
- 場所** 名古屋校舎 厚生棟 W402教室
豊橋校舎 4号館 421教室
- 2024年度版Moodle説明会**
 - 操作方法説明 2024年度版Moodleの変更点、教材配布(ファイルアップロード)、レポート課題、フォーラム、小テスト、アンケート、クイックメールなど
 - サポート体制、マニュアル設置場所の紹介
コースの開設や教材の掲示をはじめ、Moodleの設定から使用方法の説明まで、メディアセンター職員や専門スタッフがご困りごとに対応します。
パソコンが苦手な先生方にも安心してお使いいただくことができます。
・常駐サポート、メディアセンターサポート
- 利用者向け相談会**
すでに利用している教員向けの相談会です。
Moodleの操作や授業での利用方法について困っていることなどを
お気軽にご相談ください。入退室は自由です。
- 講師** 名古屋校舎：運営堂 森野誠之
豊橋校舎：株式会社コネクティブ 内田広幸
- その他** ※事前登録の必要はありません。直接教室までお越しください。
※当日は教員向けマニュアルを配布いたします。
※オンラインでの開催はありません

講習会に関するお問い合わせ先

名古屋校舎 情報システム課 水谷 (内線: 20560) お問い合わせ先 E-Mail
豊橋校舎 情報システム課豊橋分室 宮部 (内線: 1532) E-mail: moodlestaff@ml.aichi-u.ac.jp

2. Moodle利用状況

(A) コース利用状況

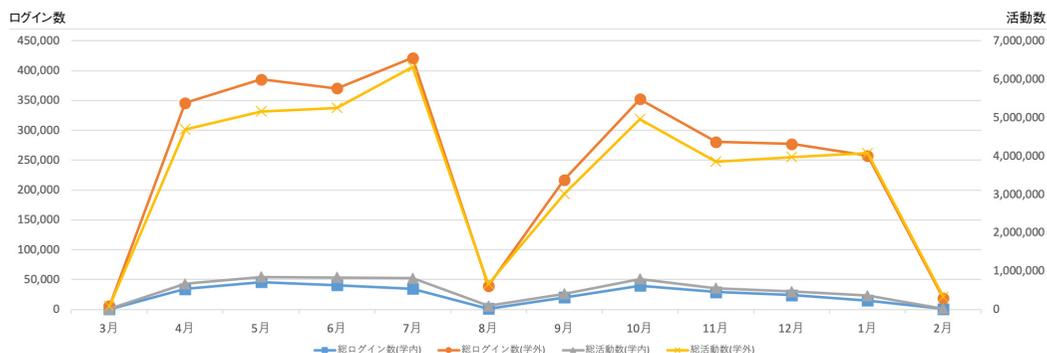
運用開始15年目の2023年度も、2022年度に続き全ての授業についてコース作成をすることとなった。春学期・秋学期・通年の内訳は異なるが、コース合計は昨年と同数だった。

カテゴリ	2023年度利用コース数			
	春学期	秋学期	通年	合計
共通教育科目(名古屋)〈法・経済・経営・現中・国際〉	428	403	3	834
共通教育科目(豊橋)〈文・地域・短大〉	258	253	1	512
法学部	83	83	39	205
経済学部	69	76	62	207
経営学部	168	139	32	339
現代中国学部	172	162	6	340
国際コミュニケーション学部	184	201	11	396
文学部	214	229	21	464
地域政策学部	134	139	8	281
短期大学部	70	75	1	146
大学院	72	103	116	291
法科大学院	56	50	2	108
資格課程	82	84	17	183
協定留学生日本語コース	12	15	0	27
自習用教材	0	0	38	38
ヘルプ	0	0	4	4
その他	0	0	13	13
合計	2,002	2,012	374	4,388

(B) サイトアクセス状況

2023年度は秋学期より、新型コロナウイルス感染防止に関する時限的等措置が終了した。それに伴い、2022年度と比較して対面授業による割合が増加したことにより、総ログイン数および総活動数が減っている。学内・学外を合わせた総ログイン数は前年比約89%、総活動数は前年比約85%となった。

2023年度 学内・学外からのログイン数・活動数推移（月別）



		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	合計	平均
2021年度	総ログイン数(学内)	769	33,432	25,885	26,803	30,282	1,781	9,686	28,122	28,240	25,015	9,977	761	220,753	18,396
	総ログイン数(学外)	6,384	381,959	550,583	557,142	497,146	49,916	374,894	460,258	358,565	346,202	258,510	14,112	3,855,671	321,306
	総活動数(学内)	12,383	7,116,777	7,199,977	6,325,517	7,851,147	120,347	251,019	686,218	581,506	543,247	266,535	33,871	5,344,444	445,370
	総活動数(学外)	126,897	6,578,419	9,580,164	9,771,776	9,002,582	887,609	6,510,506	7,812,320	5,742,774	5,842,780	4,449,869	347,558	66,653,254	5,554,437
	ログインあたりの活動数(学内)	16.10	21.28	27.81	23.60	25.93	67.57	25.92	24.40	20.59	21.72	26.71	44.51	24.21	28.85
	ログインあたりの活動数(学外)	19.87	17.22	17.40	17.54	18.11	17.78	17.37	16.97	16.02	16.88	17.21	24.63	17.29	18.08
2022年度	総ログイン数(学内)	514	31,410	45,078	42,733	33,645	2,160	27,145	40,061	29,687	26,791	12,230	786	292,240	24,353
	総ログイン数(学外)	5,894	406,836	453,835	424,065	469,800	57,559	309,639	374,731	294,419	288,144	252,622	13,710	3,351,254	279,271
	総活動数(学内)	7,172	6,860,099	10,649,971	9,200,057	7,904,877	126,545	569,402	889,321	569,004	531,925	332,439	18,768	6,506,190	542,183
	総活動数(学外)	143,196	6,114,718	6,906,409	6,487,598	7,733,234	929,450	4,234,701	5,162,211	3,950,980	4,156,441	3,874,483	216,827	49,910,248	4,159,187
	ログインあたりの活動数(学内)	13.95	21.84	23.63	21.53	23.49	58.59	20.98	22.20	19.17	19.85	27.18	23.88	22.26	24.69
	ログインあたりの活動数(学外)	24.30	15.03	15.22	15.30	16.46	16.15	13.68	13.78	13.42	14.42	15.34	15.82	14.89	15.74
2023年度	総ログイン数(学内)	499	34,090	45,845	40,564	34,478	1,280	20,140	39,840	29,053	23,977	14,723	786	285,275	23,773
	総ログイン数(学外)	5,616	345,605	385,303	370,119	421,130	39,401	217,034	352,338	280,574	277,077	257,523	18,332	2,970,052	247,504
	総活動数(学内)	9,666	6,688,861	8,459,998	8,324,211	8,133,285	94,323	404,960	793,189	550,690	465,251	359,311	16,605	5,854,560	487,880
	総活動数(学外)	82,063	4,690,424	5,158,800	5,249,859	6,314,451	659,843	3,009,405	4,958,734	3,846,908	3,972,131	4,068,833	324,291	42,335,742	3,527,979
	ログインあたりの活動数(学内)	19.37	19.62	18.45	20.52	23.59	73.69	20.11	19.91	18.95	19.40	24.40	21.13	20.52	24.93
	ログインあたりの活動数(学外)	14.61	13.57	13.39	14.18	14.99	16.75	13.87	14.07	13.71	14.34	15.80	17.69	14.25	14.75
前年同月比	総ログイン数(学内)	97.1%	108.5%	101.7%	94.9%	102.5%	59.3%	74.2%	99.4%	97.9%	89.5%	120.4%	100.0%	97.6%	97.6%
	総ログイン数(学外)	95.3%	84.9%	84.9%	87.3%	89.6%	68.5%	70.1%	94.0%	95.3%	96.2%	101.9%	133.7%	88.6%	88.6%
	総活動数(学内)	134.8%	97.5%	79.4%	90.5%	102.9%	74.5%	71.1%	89.2%	96.8%	87.5%	108.1%	88.5%	90.0%	90.0%
	総活動数(学外)	57.3%	76.7%	74.7%	80.9%	81.7%	71.0%	71.1%	96.1%	97.4%	95.6%	105.0%	149.6%	84.8%	84.8%

4. ICT委員会構成員

◆ICT委員（2024年10月1日現在）

役 職 名	所 属	氏 名
情報メディアセンター所長	経 営 学 部	岩田 員典
委 員	文 学 部	近藤 暁夫
	地域政策学部	佐藤 弘隆
	短期大学部	迫田 耕作
	法 学 部	松井 吉光
	経 営 学 部	毛利 元昭
	現代中国学部	吉川 剛
	経 済 学 部	池森 均
	国際コミュニケーション学部	梅垣 敦紀
	法科大学院	春日 修

◆情報メディアセンター事務室

情報システム課	課 長	石原 有希子
	係 長	伊神 真悟
	課 員	岩田 大輝
		石川 彰吾
情報システム課 豊橋分室	係 長	宮部 浩之

5. 愛知大学 情報メディアセンター沿革・歴代所長

年度	組織	所長 (任期)		システム沿革
		豊橋	名古屋	
1978				IBM製ホストコンピュータ4331 導入
1979				
1980	電子計算機センター	電子計算機センター委員会		
1981		津村 善郎 (1980.4.1～1982.4.30)		
1982				
1983		福田 治郎 (1982.5.1～1985.3.31)		
1984				
1985		高橋 正 (1985.4.1～1989.3.31)		
1986				
1987				
1988				
1989	情報処理センター	情報処理センター委員会 豊橋情報処理センター委員会 名古屋情報処理センター委員会		日立製ホストコンピュータ (HITAC M-640/20) 導入
1990		藤田 佳久 (1989.4.1～1994.9.30)	坂東 昌子 (1989.4.1～1990.9.30)	
1991			浅野 俊夫 (1990.10.1～1992.9.30)	
1992			有澤 健治 (1992.10.1～1994.9.30)	第2期教育研究情報システム稼働 1991.4～1994.3
1993				
1994		樋口 義治 (1994.10.1～1998.9.30)	長谷部 勝也 (1994.10.1～1998.9.30)	
1995				
1996				第3期教育研究情報システム稼働 1994.10～1997.3(全校舎学内LAN敷設)
1997				
1998		宮沢 哲男 (1998.10.1～2000.3.31)	有澤 健治 (1998.10.1～2000.9.30)	第4期教育研究情報システム稼働 1997.4～2000.9(延長6ヶ月)
1999				
2000		小津 秀晴 (2000.4.1～2002.9.30)	田川 光照 (2000.10.1～2002.9.30)	10月 第5期教育研究情報システム稼働
2001				
2002				
2003				
2004	情報メディアセンター	情報メディアセンター委員会 豊橋情報メディアセンター委員会 名古屋情報メディアセンター委員会		4月 第6期教育研究情報システム稼働
2005				
2006		龍 昌治 (2002.10.1～2008.9.30)	坂東 昌子 (2002.10.1～2006.9.30)	
2007	情報メディアセンター運営会議 豊橋情報メディアセンター運営会議 名古屋情報メディアセンター運営会議			
2008	ICT企画会議 豊橋ICT委員会 名古屋ICT委員会		中尾 浩 (2006.10.1～2008.9.30)	
2009		蔣 湧 (2008.10.1～2010.9.30)	伊藤 博文 (2008.10.1～2012.9.30)	4月 第7期教育研究情報システム稼働
2010				
2011				
2012	ICT委員会	香掛 俊夫 (2010.10.1～2012.9.30)		4月 新名古屋校舎システム稼働
2013		中尾 浩 (2012.10.1～2014.9.30)		
2014				
2015		松井 吉光 (2014.10.1～2018.9.30)		
2016				
2017				
2018				
2019		岩田 員典 (2018.10.1～)		
2020				
2021				
2022				
2023				
2024				

編集後記

今回は論文3本と研究ノート1本を掲載し、COM第49号として発刊する運びとなりました。それぞれの内容は、著者側での組版システムの高機能化、教育現場での生成AIとの付き合い方、環境センシングデータの解析、3D都市モデルデータの活用推進と、本当にバラエティに富んでおりました。情報技術がいかに学際的かつ実践的であるかとともに、これらの成果をここにまとめてお届けできた幸運を実感する次第です。ご寄稿いただいた著者の方々に、厚く御礼を申し上げます。

さて、編集を担当しているからか、電子文書について思いを馳せることが増えました。以前から、論文やレジュメやレポートは電子文書として作成・共有されておりますが、その技術を適切に使いこなせているユーザは、デジタルネイティブ世代が台頭し始めた現在でも、意外に少ないように思います。例えば、Wordの相互参照機能を言われずとも使う学生を、ほぼ見かけません。作成中に番号がズレ、それを直し漏れていて、それに気付かない。だからと使い方を教えても、使ってもらえない。そういう私自身、大学生の頃には使っていませんでした。もっとも、私の場合は大抵、組版システムLaTeXでの作成を義務付けられており、そちらでは頑張っていたと自負しておりますが。

そのLaTeXでの作成をCOMに導入する試みが、前号と今号に載っております。その組版の出来栄は、提出原稿の段階で印刷業者によるものとそん色がなく、そのままページを繋げばよいことに驚嘆しました。気になる方は、ぜひCOMを読み比べてみてください。それにしても、著者側でここまで仕上げられると、出版の在り方・望まれ方が変わってくるのも当然だと思えます。印刷業者には気の毒かもしれませんが、それを使いこなせる技能と上回る品質が求められるということです。実は前号でLaTeXを用いた部分は全て、文字情報を失ったラスター画像となってしまう、反省点を踏まえた今号の編集作業でも、業者との調整で混乱が生じました。難しいものです。

情報技術は常に変化に富み、その一方でそれらに対応することが、人にも社会にも求められています。これにはまず、「知らせること」と「知ろうとすること」が重要だと思います。そういった情報交流の場の一つがCOMとなり、ご活用いただく方々が増えましたら幸いです。寄稿・閲覧など形を問わず、引き続き皆様をお待ちしております。

(M. M.)

自己紹介

情報システム課 石川

2024年度の人事異動で情報システム課へ配属となりました。2013年度に入職して2016年度までの4年間は情報システム課で勤務しました。2017年度から2年間は教務課、2019年度から5年間までは図書館に勤務しました。この度の異動で7年ぶりに古巣へと帰ってきました。

古巣に帰るといっても、7年の間に、コロナ禍があり、AI技術も飛躍的に伸び、国際事情も様変わりして物価高が止まらないなど、私が所属していた当時とはまるで世界が変わっていました。担当業務としても、2013年度入職当時は事務情報システムやユーザアカウントの管理・運用が主たる業務でしたが、現在は学内ネットワーク管理、LMSシステムの管理・運用と全く異なる業務をしており、1から学びなおしをしています。

教務課での2年間は、教職課程の担当をしていました。学校教師を目指す学生のために、学生の単位をチェックしたり、文科省・教育委員会への申請をしたりすることが業務の中心でした。

図書館での5年間では、書籍を集める収書業務や利用者へのレファレンス業務、図書管理システムの管理・運用と幅広く携わっていました。

情報システム課、教務課、図書館と行ってきた業務はそれぞれ異なりますが、いずれも大学に関係する人のことを考え、より良い研究・教育環境を整えるという目的は一緒だと感じています。

7年ぶりに情報システム課に配属となったことを良縁と捉え、周囲への感謝、他者への思いやりを忘れずに日々業務に努めてまいりたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。